

子どもたちのための学校教育の在り方を語り合う会 開催結果概要

全部で 269 件以上の様々な意見やアイデア等が出されましたが、どの会場においても“子どもたちには栗山の地域性を活かしながら、色々な経験を通じて成長できる環境をつくってあげたい気持ち”が強く表れていました。

前向きな話題が数多く出された一方で、少子化による教育環境への影響を心配する話題（具体的には、早期の統廃合を求める声）も全会場に出ていました。

今回の結果は、今後立ち上げる予定の栗山町立小中学校適正配置計画検討委員会へ引継ぎ、今後の学校教育環境の方向性を検討していきます。

日 程：令和 6 年 1 月 22 日～令和 6 年 2 月 9 日

会 場：総合福祉センターしゃるる他 全 7 会場

参加者：77 名

	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	計
男	0	3	15	7	6	6	1	38
女	3	7	9	9	4	7	0	39
計	3	10	24	16	10	13	1	77

参加者からの発言内容：

全部で 269 件以上の意見やアイデア等が出され、その結果を 13 分類にまとめました。全内容は別紙一覧のとおりです。

1. 子どもの夢や特技の伸ばし方に関する事	38 件
2. 子どもとのコミュニケーションに関する事	21 件
3. 地域との結びつきに関する事	56 件
4. 学校の雰囲気や環境に関する事	75 件
5. 学力の向上に関する事	6 件
6. 食育に関する事	18 件
7. ICTの活用に関する事	8 件
8. 学校間の交流に関する事	15 件
9. 統廃合に関する事	13 件
10. 学校の先生への支援に関する事	11 件
11. 保護者との関わりに関する事	3 件
12. 経済的負担に関する事	3 件
13. その他	2 件